

NEWS RELEASE

2023年1月20日(金) 12:00 リリース

CHEMISTRY のフルオーケストラコンサート
鳴りやまないカーテンコール、圧巻のパフォーマンスを再び！
～東京・兵庫でのアンコール公演が決定～



2022年7月27日 東京文化会館

ビルボードジャパン（株式会社阪神コンテンツリンク）は、昨夏開催された CHEMISTRY オーケストラ公演の再演を望む多くの声にお応えし、今春のアンコール公演開催（東京・兵庫）を決定した。

ヴォーカルデュオのトップアーティストとして第一線で活躍する CHEMISTRY がデビュー21年目にして新たに挑んだフルオーケストラ公演「CHEMISTRY Premium Symphonic Concert 2022」（2022年7月27日：東京文化会館、同年8月7日：フェスティバルホール）では、デビュー曲にしてミリオンヒットとなった「PIECES OF A DREAM」をはじめ「Point of No Return」「My Gift to You」など、250あまりのレパートリーの中から厳選した全16曲を披露。壮大で洗練されたアレンジによって名曲

がさらに輝きを増し、類まれなるボーカリストである堂珍嘉邦、川畑 要の成熟した歌声と、渡辺シュンスケの美しいピアノの音色、そして東京フィルハーモニー交響楽団と大阪交響楽団が織りなす豊潤な音が溶け合い、想像を遥かに超える“化学反応”によって極上の“ハーモニー”が誕生した。

コンサートのMCで、「歌っていて、とてつもなく心地いい。後ろから音が降ってくるよう」（川畑 要）、「演奏のエネルギーを感じて、奮い立たせてくれる」（堂珍嘉邦）と語ったように、CHEMISTRY 自身もフルオーケストラコンサートの醍醐味を体感し、ファンとともに感動を分かち合った。

「CHEMISTRY Premium Symphonic Concert 2023 -Encore-（ケミストリー プレミアムシンフォニックコンサート 2023 -アンコール-）」と題した今回の公演では、関西は兵庫県立芸術文化センターに会場を移し、新編曲のナンバーも追加される予定だ。音響の素晴らしさを誇る芸術の殿堂で、オーケストラの豊かで美しい響きとともに CHEMISTRY の二人が今度はどんな表情を見せるか大いに期待したい。

なお、昨夏の公演については、以下のライブレポートも併せて確認されたい。また、音源はライブアルバム『CHEMISTRY Premium Symphonic Concert 2022』としてリリースされている。

<ライブレポート>CHEMISTRY、18年ぶりのオーケストラ公演「CHEMISTRYの成長を追いかけた、壮大なドキュメント映画を観たような感覚」2022年7月29日掲載
https://www.billboard-japan.com/d_news/detail/114920

<リリース情報>ライブアルバム『CHEMISTRY Premium Symphonic Concert 2022』発売中
AICL-4292/3,520円（税込）録音：2022年7月27日 東京文化会館 大ホール
https://chemistry-official.net/s/a001/page/discography_article#disc-AICL-4294

【公演情報】

■公演名： billboard classics CHEMISTRY Premium Symphonic Concert 2023- Encore-（読み）ビルボードクラシックス ケミストリー プレミアムシンフォニックコンサート 2023 -アンコール-

■開催日時・会場：

【東京】4/22（土）東京文化会館 大ホール 開場 16:00 開演 17:00

【兵庫】5/2（火）兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール 開場 17:30 開演 18:30

■出演：CHEMISTRY

■ピアノ：渡辺シュンスケ

■指揮：栗田博文

■管弦楽：【東京】東京フィルハーモニー交響楽団、【兵庫】大阪交響楽団

■編曲監修：山下康介

■主催・企画制作：ビルボードジャパン（阪神コンテンツリンク）

■後援：米国ビルボード

■公演公式サイト：https://billboard-cc.com/classics/chemistry2023_encore

【チケット情報】

■チケット価格

SS席 13,000円、S席 11,000円（全席指定・税込）

※特製プログラム付き ※未就学児入場不可

■チケット販売スケジュール

◎CHEMISTRY オフィシャルファンクラブ【CHEMISTRY CLUB+】会員先行（抽選）：
1/20（金）12:00～1/29（日）23:59

◎ビルボードライブ法人会員、ビルボードライブ「Club BBL」会員先行（抽選）：

2/3(金)15:00～2/8(水)23:59

◎ローソンチケット独占先行（抽選）：2/3(金)15:00～2/8(水)23:59

◎プレイガイド先行：2/16(木)～

◎一般発売：3/4(土)10:00～

※車椅子をご利用のお客様は、各公演のお問合せ先までお電話にてお問合せください。

※チケットはおひとり様1枚必要となります。チケットを紛失された方、または当日お忘れになった方はご入場できません。

※チケット購入の際は、必ず公式サイトに掲載している注意事項をご確認の上、チケットをお求めください。

<ご来場のお客様へのお願い： <https://billboard-cc.com/classics/notice/>>

■コンサートに関するお問い合わせ

【東京】H.I.P. 03-3475-9999（月～金 10:00～18:00、土日祝休）

【大阪】キョードーインフォメーション 0570-200-888（月～土 11:00～16:00、日祝休）

【添付資料】出演者プロフィール

CHEMISTRY



堂珍嘉邦、川畑要による男性デュオ。オーディションバラエティ番組「ASAYAN」の男子ボーカリストオーディションで選ばれ、ヴォーカルデュオ“CHEMISTRY”としてシングル

「PIECES OF A DREAM」で2001年3月7日デビュー。

2021年にデビュー20周年を迎え、2022年2月にはベストアルバム「The Best & More 2001～2022」を発売。日本武道館にて20周年記念ライブを敢行しするなど20周年イヤーを成功に収め、現在もライブやリリースなど精力的に活動している。

オフィシャルサイト <https://www.chemistry-official.net/>

渡辺シュンスケ（ピアノ）



1975年1月7日生まれ、愛知県名古屋出身。

O型13才(中学2年生)から、キーボードを始める。高校卒業後、上京。国立音楽大学に入学。在学中よりセッション・キーボーディストとしての活動を開始する。アコースティックピアノ、オルガン、シンセサイザーからコンピューターまで大胆に使いこなすキレの良い鍵盤さばきと華のあるステージ・パフォーマンスによって一躍若手を代表するキーボーディストのひとりとして注目を浴びる。近年では多くの著名アーティストのレコーディングやライブ・

ステージで活躍する他、楽曲提供、プロデュース、アレンジ等も数多く行っている。また、自身のプロジェクトとして“Schroeder-Headz”の他、オリジナル・ソングをボーカル&ピアノを披露する“cafelon”としても定期的にライブを行なう。

オフィシャルサイト <https://watanabe-shunsuke.com/>

栗田博文（指揮）



1988年、第23回東京国際音楽コンクール指揮部門において第1位優勝を果たし、翌年、国内主要オーケストラを指揮しデビュー。1989年に渡欧。同年、第1回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクール（イタリア）に入賞し国際的な評価を確立。1995年、第1回シベリウス国際指揮者コンクール（フィンランド）の最高位に輝く。同年、フィンランド放送交響楽団より招かれ、ヨーロッパデビューを果たし大好評を博す。国内外の活発な指揮活動とともに、国立音楽大学客員教授を務め、後進の指導にも力を注いでいる。クラシック音楽の古典から現代作品まで、幅広いレパートリーを持つほか、様々なジャンルとのコラボレーションも積極的に行っている。

栗田博文ブログ <http://hirofumi-kurita.com/>

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本のオーケストラとして最古の歴史をもち、メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。自主公演の他、新国立劇場他でのオペラ・バレエ演奏、NHK他における放送演奏など、高水準の演奏活動を展開。また、海外公演も積極的に行い、国内外から高い注目を集めている。

1989年からBunkamura オーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

オフィシャルサイト <https://www.tpo.or.jp/>

大阪交響楽団

1980年「大阪シンフォニカー」として創立。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を！』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。

2001年1月に、楽団名を「大阪シンフォニカー交響楽団」に、2010年4月「大阪交響楽団」に改称した。2022年4月、新指揮者体制として、山下一史（常任指揮者）、柴田真郁（ミュージックパートナー）、高橋直史（首席客演指揮者）の3名が就任、さらなる楽団の飛躍が期待されている。2006年4月、大和ハウス工業株式会社 代表取締役会長 CEO（当時）樋口武男氏が運営理事長を経て、2018年11月公益社団法人大阪交響楽団理事長に就任。2020年10月に大和ハウス工業株式会社 代表取締役社長 CEO 芳井敬一氏に理事長をバトンタッチした。

楽団公式ホームページ (<https://sym.jp>)

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社阪神コンテンツリンク ビルボード事業本部 クラシックス事業部

メールアドレス：bbc@hcl-c.com TEL：(03) 5544-9802 FAX：(03) 5544-9806

ビルボードクラシックス公式ウェブサイト：<https://billboard-cc.com/classics/>